

違いはいつか武器に

STOP 自殺 5
#しんどうい君へ



読売新聞オンライン
イン特設ページ
で動画も公開中

東京から千葉へ転校した小4の頃、肌の色や縮れ毛をか
らかわれるようになりまし
た。父はアメリカ人ですが、
会うこともなく他界。海外経
験もなく、自身は「純日本人」
なのに、自分は周囲とは違
うと意識するようになりま
した。

休み時間の校庭では、同級
生が僕を的にサッカーボール
を蹴ってきました。上履きや
教科書を隠され、グループに
入れてもらえず……。学校が
怖くなり、できるだけ存在感
を消して、休み時間も教室で
一人、下を向いて座っていま
した。

いるんだ」「お母さんは日本
人、どうせわからない」と乱
暴な言葉で当たりました。母
は「周りと違うことはいつか
また。自分の特性を生かす

タレント
副島淳 さん 35



奥西義和撮影

大学卒業後、モデルのほか、舞台や映画で活躍。朝の情報
番組「あさイチ」(NHK)や夕方のニュース番組「Liv
e News it!」(フジテレビ)にも出演している。

将来は無限 一人じゃない

「ことができたのです。」「お前、
黒いな」と言われても、「日
焼けサロンで寝過ぎちゃっ
て」と切り返せるようになった
ました。

大学までバスケットを続け、社
会に出ると、再び、見た目で
葛藤を抱えました。

居酒屋で働きながら、俳優
やモデルの仕事が始めたので
すが、オーディションでは英
語話せないの?と言われ、
ため息をつく審査員から、「こ
いつ使えない」という心の声
が読み取れました。

24歳の時、黒人の殿様役で
舞台に出演し、僕が登場する
と笑いが起きました。肌の色

の違いを笑いに変えることを
敬遠する人もいると思います
が、この容姿がいかに持
ちがよく、表現の世界はこ
ういうことができるんだと初め
て実感しました。

僕は、今もコンプレックス
があるし、自信もない。だが
ら、偉そうなことは言えませ
ん。でも、何か一つやり続け
られるもの、興味があるもの
を見つけてほしい。そして、
共通の思いを持つ仲間を探し
てほしい。将来の可能性は
無限に広がっています。君は
一人じゃないのだから。

(おわり。この連載は、上田詔
子、岡本裕輔が担当しました)

主な相談窓口

文部科学省「24時間子供SOSダイヤル」
電話 0120-0-78310
毎日24時間。保護者からの相談にも対応

チャイルドライン
電話 0120-99-7777
毎日午後4時~9時。同団体のホームページのチャットからも相談できる(毎週木、金、第3土曜)

NPO法人BONDプロジェクト
LINE @bondproject
月、水~土曜の午後2~5時半、午後6時半~10時。10、20歳代の女性が対象

法務省「子どもの人権110番」
電話 0120-007-110
平日午前8時半~午後5時15分。「子どもの人権SOS-eメール」のホームページからも相談できる